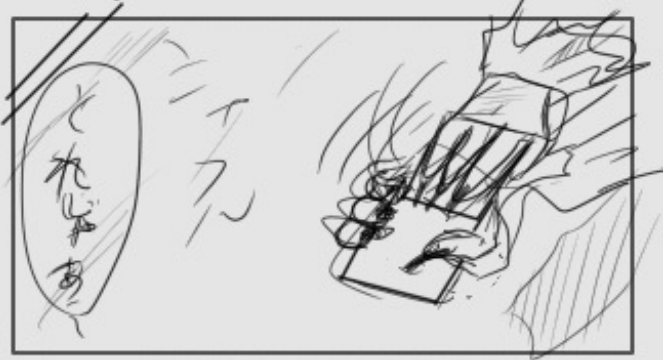
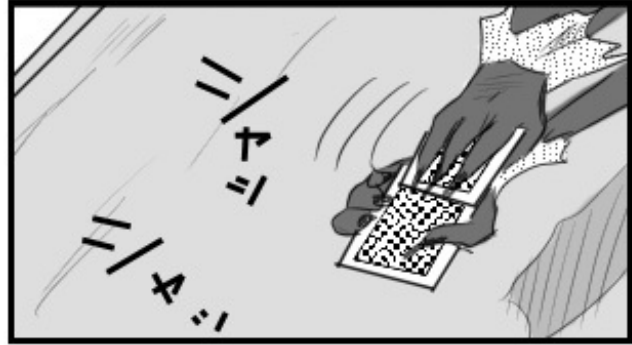


第5話『ジャッカス・ガード(その④)』







時間制限があるが
30分もかからないし
あまり意味がないだろ？

…？
何が言いたい？

時間制限を
もっと厳しい条件に
してみないか？

回りくどいな
結論から言えよ

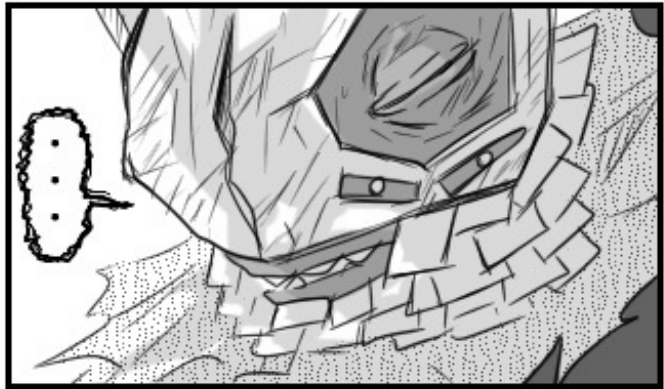


…こいつ…
まさか…
俺様のイカサマに気付いたのか…？

3秒……か——



3秒！
ゲーム開始から
互いに考える時間は3秒以内
時間前に相手に順番を回さないと
負け……と言うのはどうだ？



じゃあルール追加と共に
確認しよう

お互い5秒以内に
相手に順番を
回さないと
その時点で負け
これでイイかい？

問題ないぜ

ああ
それでイイ

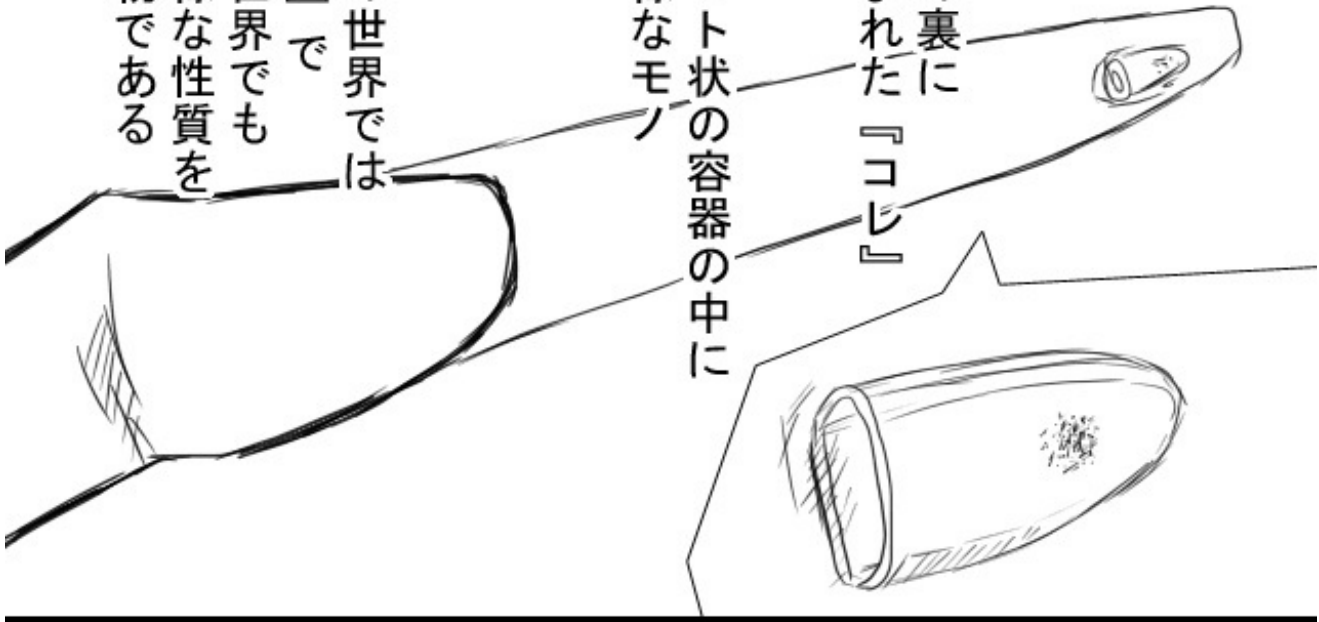




爪先の裏に
仕込まれた『コレ』

ポケット状の容器の中に
砂の様なモノ

そう
人間の世界では
『磁力』で
この世界でも
似た様な性質を
持つ物である

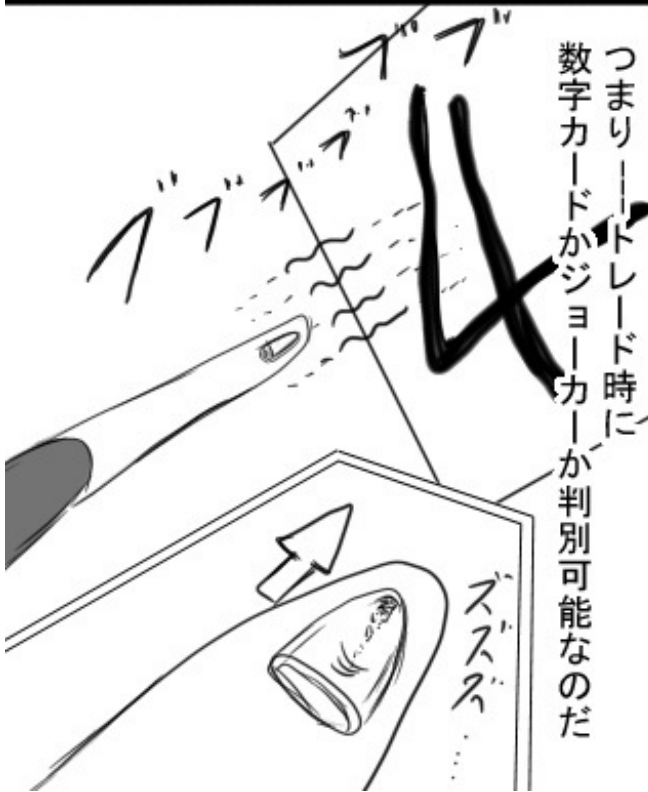


引き合うと言う特性上
もう片方にも同じモノが必要である

当然
最初に
佐久間自身の手によって
カードに数字を記したペンの
インクにも同じ物質が含まれていた



つまりリード時に
数字カードがジョーカーが判別可能なのだ





このジャツカスカードは理論を理解していればジョーカーの枚数が多い方が負ける事はない

ただ裏をかかれた場合はジョーカー1枚分の有利が帳消しになり(同条件)同点になるが、負けはない

相手がトレード時にジョーカーを引いた場合も同じである互いにジョーカー同士を引き裏をかいて成功した場合は勝てる可能性もあるがこのイカサマは対戦回数が増える程相手はジョーカーを引く可能性が少なくなる

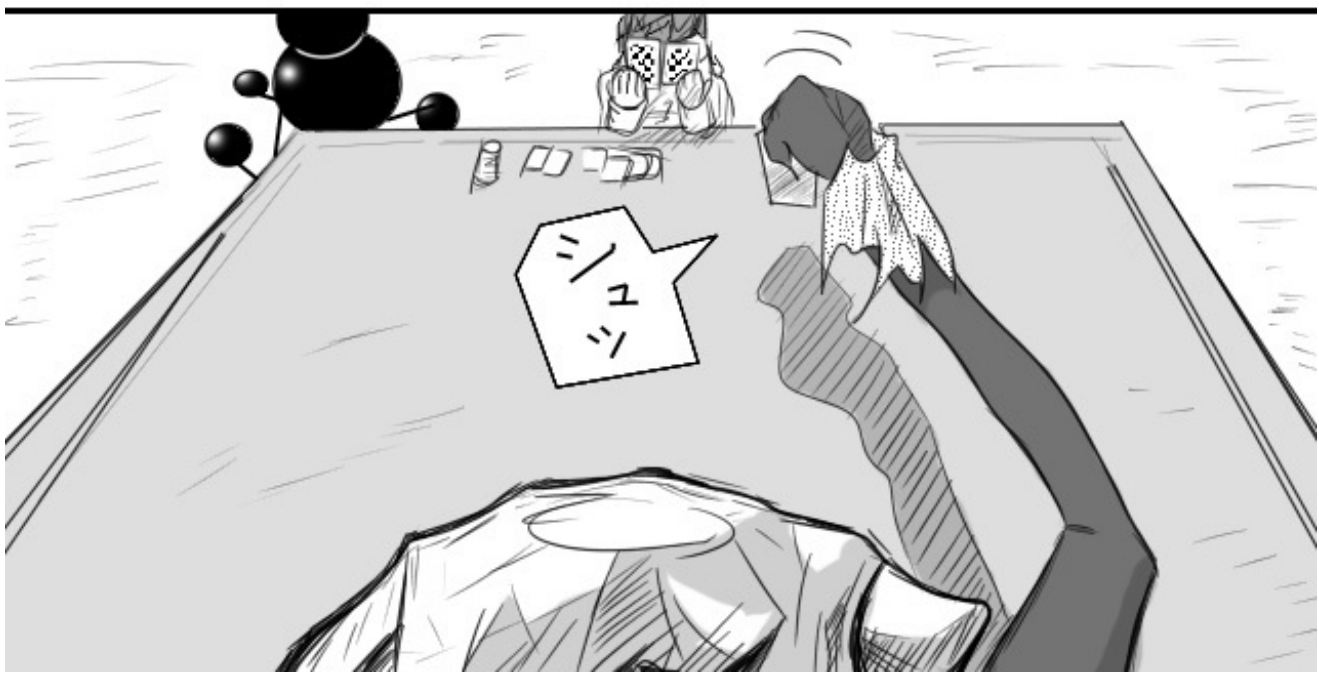
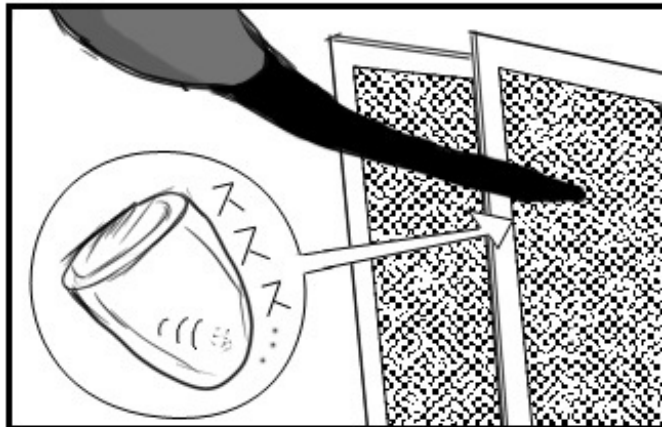
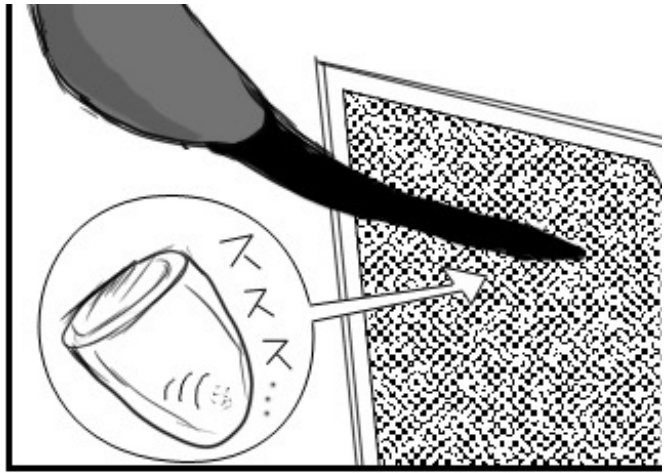
9連続	8連続	7連続	6連続	5連続	4連続	3連続	2連続	最初で	しかし
0.005%	0.01%	0.04%	0.13%	0.41%	1.2%	3.7%	11%	1/3	毎回ジョーカーを引く確率は
								33%	



人間が勝つには――

毎回ジョーカーを運良く引き当て尚且つ裏をかいてそれを成功させる2段階の壁を超える必要がある

10回連続 ---
 0.0016935087808430286711036596724754 %
 実に 1/59049 の確率である



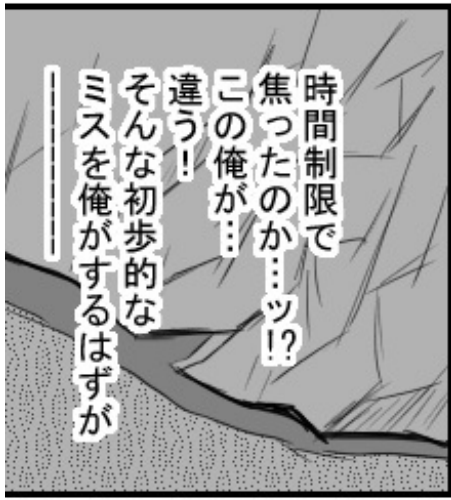




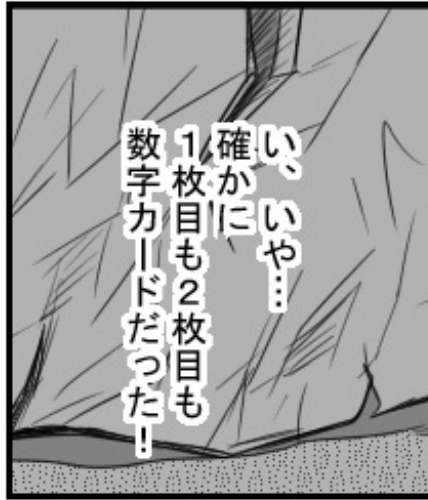


なにいいいい
イイ……ッ!!?

数字カードだとお
おおおおオオオオ
オオオオオ!!?



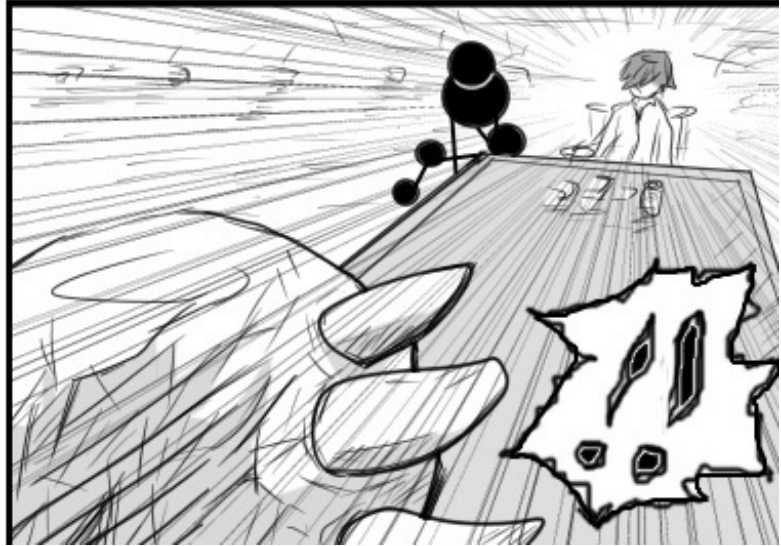
時間制限で
焦ったのか……ッ!?
この俺が……
違う!
そんな初歩的な
ミスが俺がするはずが



い、いや……
確かに
1枚目も2枚目も
数字カードだった!



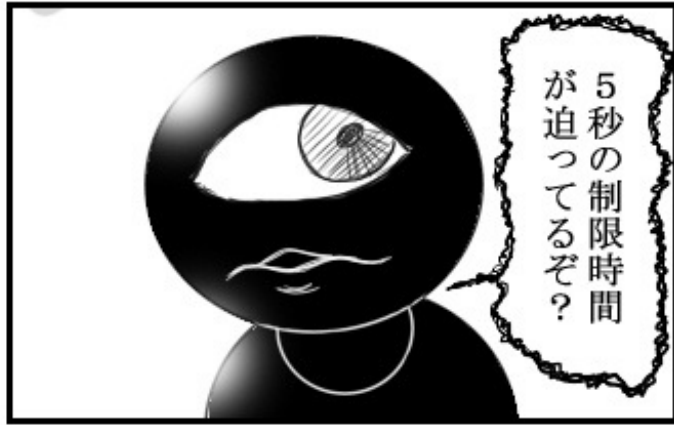
ば、馬鹿な……!
くそッ!
馬鹿な! 馬鹿な!!
俺が失敗だと……ッ!?





人間！
まさか…アイツ…!!

何か仕掛けて…
カードをすり替えた
のか…ッ!?

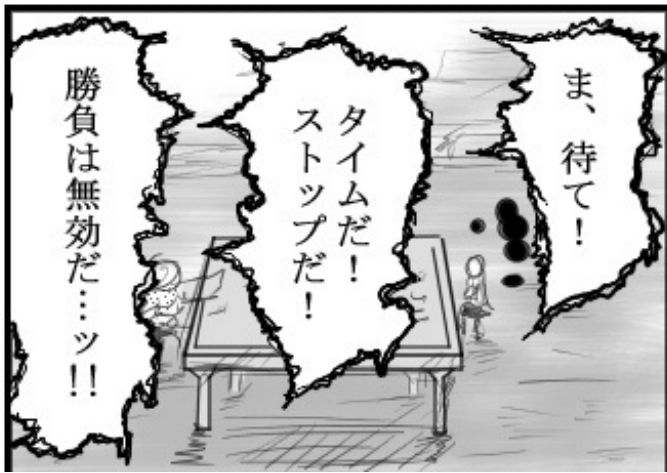


5秒の制限時間
が迫ってるぞ？



どうなってる…
どう言う事だ…!!

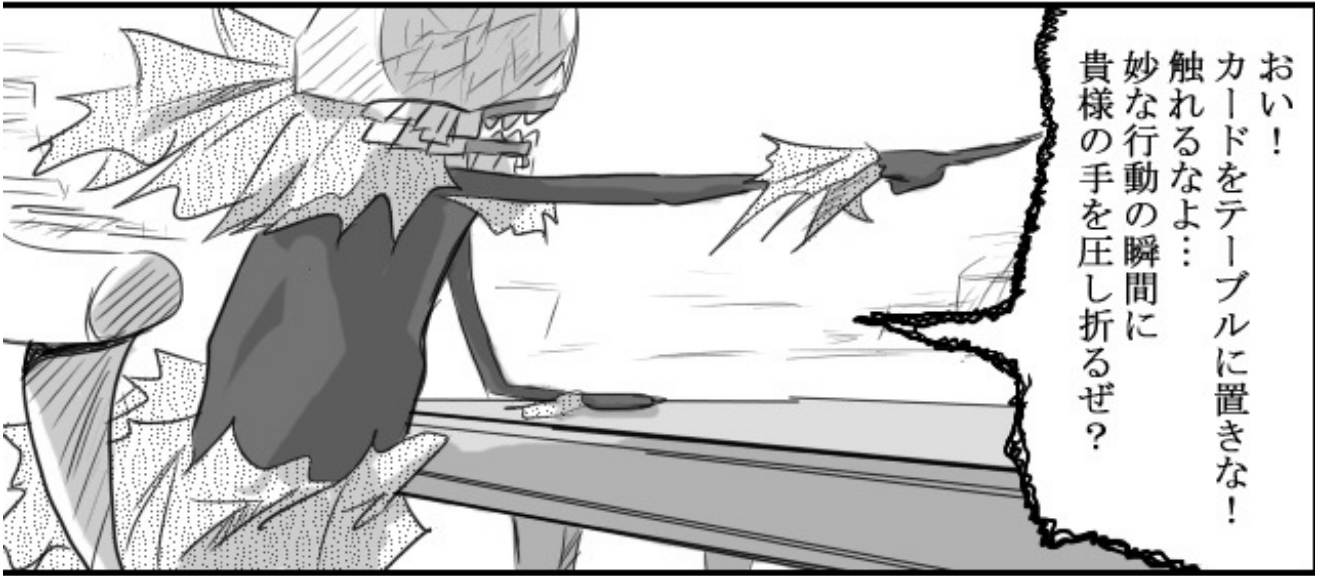
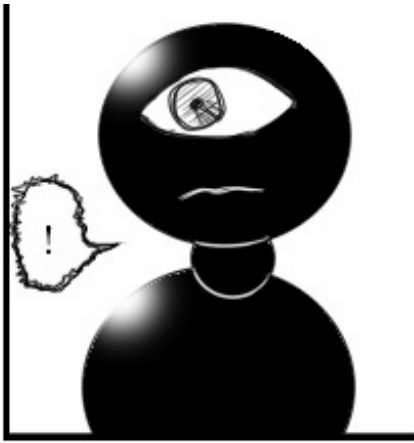
どうなってる…
どう言う事だ…!!

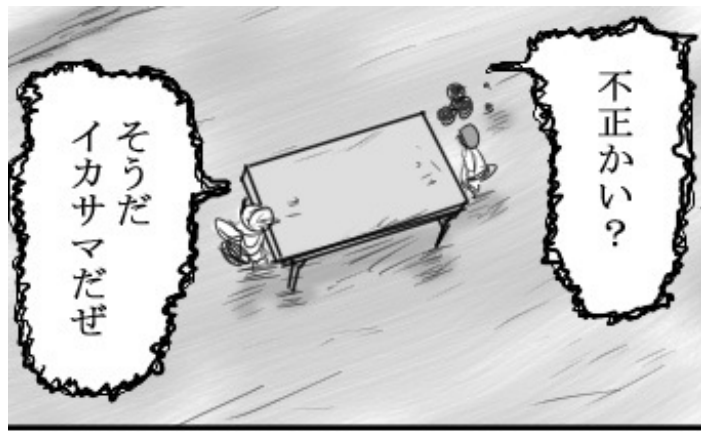


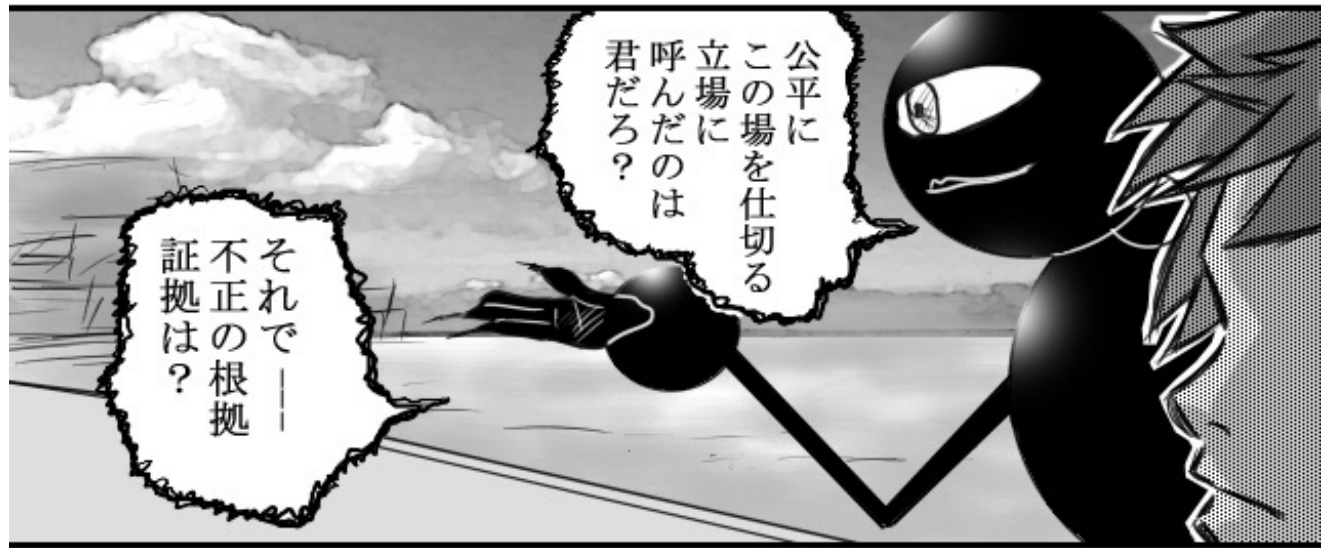
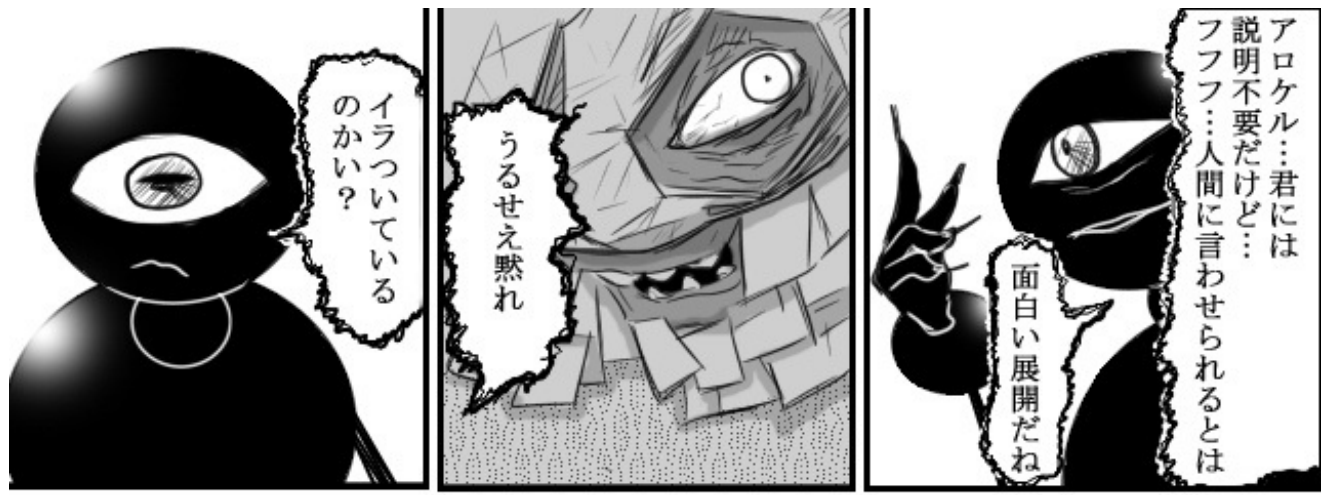
ま、待て！

タイムだ！
ストップだ！

勝負は無効だ…ッ!!





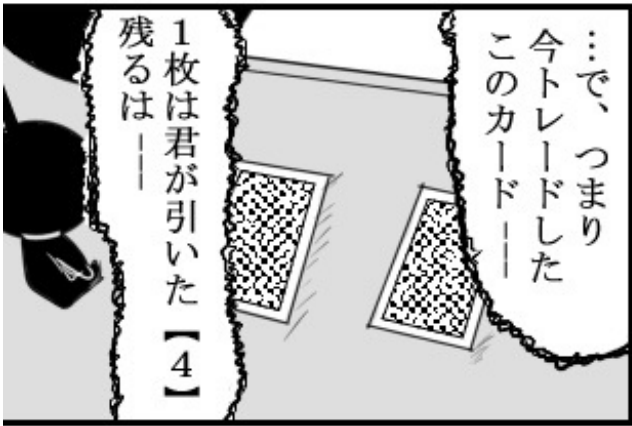




黙れ人間
今更、俺のイカサマを
気付いたところで
遅いぜ



—って、お前もイカサマだろ？
仮に全部数字カードだとして
なんでお前に分かるんだ？



…で、つまり
今トレードした
このカード—
1枚は君が引いた【4】
残るは—



先に示唆した
俺が先だ



【5】と【ジョーカー】
のはずだが…
どちらも数字カード…
と言う事かい？
そうだ

